

日本学術振興会の事業一覧

事業名	事業概要	支援(実施)期間	支給経費額	申請期間	
I 世界レベルの多様な知の創造	科学研究費助成事業	人文・社会科学から自然科学までの全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする研究費の助成	1～5年間	研究種目で区分	9月上旬～11月上旬 ※研究活動スタート支援： 3月上旬～5月上旬
	課題設定による先導的人文・社会科学推進事業	領域開拓プログラム 異なる学問分野の研究者の参画を得て、新たな研究領域への予想外の飛躍をもたらすような課題の追求や方法論の継続的な改良を目指す事業	3年間	1課題当たり500万円 若しくは1,000万円まで/年度	4月上旬～6月上旬 ※H27年度は実社会プログラムを公募。 H28年度はグローバル展開プログラムを公募する予定。(3つのプログラムを1年ずつ順番に公募。)
		実社会対応プログラム 社会的貢献に向けた共同研究を推進するため、研究成果と実務を橋渡しできる者(「実務者」)の参画を得て分野間連携による共同研究を実施し、研究推進から成果発信までの研究者と実務者の連携を目指す事業	2年間	1課題当たり500万円 若しくは1,000万円まで/年度	
		グローバル展開プログラム 人文学・社会科学の様々な分野を対象とした国際共同研究を推進し、国際的なネットワークの構築による海外の研究者との対話やグローバルな成果発信を目指す事業	3年間	1課題当たり1,000万円若しくは2,000万円まで/年度	
世界トップレベル研究拠点プログラム	高いレベルの研究者を中核とした世界トップレベルの研究拠点の形成を目指す構想に対し集中的な支援を実施。振興会では審査・評価・管理を実施	原則10年間	1拠点当たり13～14億円程度/年度 (フォーカス拠点は～7億円程度/年度)	(新規公募無し)	
II 強固な国際協働ネットワークの構築	二国間交流事業 共同研究・セミナー	個々の研究者交流を促進させた二国間の研究チームのネットワーク形成を目指して、他国の研究者と協力して行う共同研究・セミナーを実施するための経費を支援	共同研究：1～3年間 セミナー：1週間以内	共同研究：1課題当たり 100～500万円以内/年度 セミナー：1課題当たり 120～250万円以内	8月下旬～9月上旬
	特定国派遣研究者事業	我が国の研究者が相手国の研究者を訪問し、研究、意見交換等を行うための経費を支援	14日～2年間 (派遣国、対応機関による)	往復航空費、滞在費等 (派遣国、対応機関による)	6月上旬
	日独共同大学院プログラム	日独の大学が共同課程を設定し、大学院博士課程の学生や教員及びポスドク等の若手研究者を相互に派遣して、学生の研究指導、論文指導を共同で行う取組を支援	最長5年間	1プロジェクト当たり 1,500万円以内/年度	10月下旬～11月上旬
	国際共同研究教育パートナーシッププログラム (PIREプログラム)	米国国立科学財団(NSF)との合意により、一国のみでは解決が困難な課題に対して、日米の国際共同研究に要する経費を支援	最長5年間	1課題当たり 1,000万円以内/年度	4月上旬～5月上旬
	欧州との社会科学分野における国際共同研究プログラム (ORAプログラム)	我が国の大学等の優れた研究者が欧州4か国(フランス、ドイツ、英国、オランダ)の研究者と協力して行う社会科学分野における多国間国際共同研究に要する経費を支援	2～3年間	1課題当たり 1,000万円以内/年度	12月上旬～1月上旬
	研究拠点形成事業	A. 先端拠点形成型 世界的水準の研究交流拠点の構築を目的として、世界各国の研究機関との協力関係により実施する共同研究・セミナー等の活動を支援	最長5年間	1課題当たり 2,000万円以内/年度	10月上旬
		B. アジア・アフリカ学術基盤形成型 アジア・アフリカ地域における諸課題の解決に資するため、アジア・アフリカ諸国の研究機関と実施する共同研究・セミナー等の活動を支援	最長3年間	1課題当たり 800万円以内/年度	
	日中韓フォーサイト事業	日中韓の学術振興機関が共同で、世界トップレベルの研究拠点の構築を目的として実施する共同研究・セミナー等の活動を支援	最長5年間	1課題当たり 5,000万円以内/5年間	1月下旬～2月上旬
	HOPEミーティング ～ノーベル賞受賞者との5日間～	アジア太平洋地域等の大学院生等がノーベル賞受賞者をはじめとした著名な研究者や同世代の参加者と交流を行い、将来の同地域の科学技術を担う研究者として飛躍する機会を提供	5日間程度	国内交通費、滞在費、その他参加費等	7月前半～9月中旬
	先端科学(FoS)シンポジウム事業	日本及び諸外国の新進気鋭の若手研究者を対象に、先端科学のトピックについて分野横断的な議論を行う合宿形式のシンポジウムを実施	3日間	往復航空費、国内交通費、滞在費	2月下旬
	リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業	我が国の博士課程学生、ポスドク研究者を対象に、リンダウ・ノーベル賞受賞者会議(於ドイツ)への参加を支援	1週間程度	往復航空費、国内交通費、会議参加費(滞在費を含む。)	6月中旬～8月末
	若手研究者のための学術セミナー・ワークショップ	海外の学術研究機関(インド、韓国、ブラジル)との覚書に基づき、優秀な若手研究者がワークショップやセミナーへの参加を通じた新しい研究領域の開拓やネットワーク形成を支援	学術セミナー：7～14日間程度 ワークショップ：3日間以内	学術セミナー：1件当たり1,000万円以内 ワークショップ：1課題当たり800万円以内	3月下旬
	外国人研究者招へい事業 外国人特別研究員	諸外国の優秀な研究者を招へいし、我が国の研究者との共同研究、討議、意見交換等を行う機会を提供	A.12か月以上24か月以内 B.1か月以上12か月以内 C.夏期2か月間 D.12か月以上24か月以内 E.3か月以上12か月以内 F.2か月以上10か月以内 G.14日以上60日以内 H.7日以上30日以内	渡航費(往復航空券)、滞在費等 (詳細は、種別によって異なる。)	A(外特一般)、G(招へい短期)、H(招へい短期S)： 1回目：9月上旬、2回目：4月下旬～5月上旬 B(欧米短期)： 1回目：10月上旬 2回目：1月上旬 3回目：4月上旬 4回目：7月上旬 D(外特定着促進)： 9月上旬 F(招へい長期)： 9月上旬 ※C(サマープログラム)は海外対応機関からの推薦
外国人招へい研究者					
論文博士号取得希望者に対する支援事業	日本の大学において学位取得を希望するアジア・アフリカ諸国等の研究者を我が国に招致、あるいは日本人指導者を派遣することにより、論文博士号の取得を支援	3年間	往復航空費、滞在費、物品費等	8月下旬	
III 次世代の人材育成と大学の教育研究機能の向上	特別研究員	大学院博士課程在学者及び博士の学位取得者等で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」として採用し、研究奨励金を支給	2～3年間	研究奨励金20～44万6,000円/月 研究費(最大)150～300万円/年度	DC、PD：4月上旬～6月上旬 RPD：4月上旬～5月上旬
	海外特別研究員	優れた若手研究者を海外に派遣し、大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援	2年間	往復航空費、滞在費、研究活動費(約380～520万円/年)	3月中旬～5月中旬
	頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム	大学等研究機関が、海外のトップクラスの研究機関と世界水準の国際共同研究を行うことを通じて、相手側への若手研究者の長期派遣と相手側からの研究者招へいの双方向の人的交流を展開する取組を支援	1～3年間	1件当たり 5,000万円以内/年度	5月中旬
	頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム	大学等研究機関が、研究組織の国際研究戦略に沿って、世界水準の国際共同研究に携わる若手研究者を海外へ派遣(原則1年間以上)し、様々な課題に挑戦する機会を提供する取組を支援	1～3年間	1件当たり3,000万円以内/年度	(頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラムに組替え)
	日本・スイス若手研究者交流事業	スイス連邦工科大学チューリヒ校(ETH Zurich)との合意に基づき、特別研究員採用者のスイスでの研究活動を支援	3か月以上6か月以内	往復航空費、滞在費	3月中旬の3日間
	大学教育再生加速プログラム (AP)	これまでのGP事業等により実施された教育改革に関する実績を踏まえた上で、国として進めるべき大学教育改革を一層推進するため、教育再生実行会議等で示された新たな方向性に合致した先進的な取組を実施する大学(短期大学・高等専門学校を含む)を支援することを目的とした事業。振興会では審査・評価を実施	最大5年間	1件当たり 1,800万～2,800万円以内/年度	5月上旬
大学の世界展開力強化事業	アジア及び米国等との高等教育ネットワークの構築を図ることにより、我が国の大学の世界展開力を強化することを目的とした事業を重点的に支援。本会で審査・評価を実施	最大5年間	1件当たり6,000万円程度/年度	5月中下旬	
IV 戦略的連携推進体制と	ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI	大学などの研究機関で行っている科研費の先駆的な研究成果の一端を小学校5・6年生、中学生、高校生が見る、聞く、触れるプログラムを実施するための委託費を支援	毎年度7月下旬～1月下旬の期間内	1プログラム当たり50万円以内	1月中旬
	藤田記念医学研究振興事業	故 藤田 登氏の御遺族からの寄付金により、外科系医学の若手研究者への研究助成を実施	1年間	1件当たり100万円程度	9月下旬～10月上旬
	学術関係国際会議開催募金事務の受託	学術関係の国際的な会合の開催に際して、免税の措置を受けられない主催者に代わり、振興会が募金団体となり、募金事務を受託	公益法人の募金：2年以内 指定寄付金の：1年以内		随時